

## 直接面接調査候補地の抽出の考え方について

### 1. 直接面接調査対象地の分類・抽出の基本的な考え方

- ・集落の存続・再生のための方策等を見だし、広域地方計画に反映するため、アンケート調査結果に基づき、直接面接調査対象地の抽出を行う。

### 2. アンケート調査結果からみた集落の分類・抽出

#### (1) アンケート調査結果からみた集落の分類軸の抽出

##### 人口動態（人口減少・高齢化）

- ・自治体アンケート調査の結果、人口減少や高齢化などの人口動態に、**集落の人口規模**、**集落から市町村役場までの所要時間**が影響していることが把握されたことから、当該2項目を集落の分類軸とした。

【集落分類軸】 集落の人口規模 集落から市町村役場までの所要時間

表1 人口動態からみた集落の分類軸の抽出

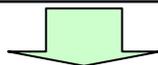
分類項目	アンケート調査結果概要	集落分類軸の抽出
集落の人口規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0～150人/集落、150～400人/集落、400人/集落以上の3グループに分類【問1】</li> <li>【<b>相関性の高かった項目</b>】</li> <li>・高齢化集落率【問3】 高齢化集落率;市町村別全集落に占める65歳以上人口が50%以上の集落数の割合</li> <li>・集落の人口減少率【問11】</li> <li>・定住促進への課題【問30】</li> </ul>	<b>集落の人口規模</b>
集落から市町村役場までの所要時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30分圏内、30分圏外の2グループに分類【問14】</li> <li>【<b>距離が人口動態に影響することを伺わせる項目</b>】</li> <li>・今後10年以内に集落機能の維持が最も困難となる集落は、市町村の行政界付近に多く分布【問10】</li> <li>【<b>相関性の高かった項目</b>】</li> <li>・集落の人口減少率【問11】</li> <li>・定住促進への課題【問30】</li> </ul>	<b>集落から市町村役場までの所要時間</b>

#### 集落機能

- ・集落分類軸とした「集落の人口規模」や「集落から市町村役場までの所要時間」と集落機能との相関性についてアンケート調査を整理した結果、**地域コミュニティ、自然環境・防災、集落景観、産業、生活、地域文化**を、集落の存続・再生に向けた「**集落課題**」として取り扱うこととする。
- ・但し、アンケート調査結果等からは、「**集落課題**」の具体的な集落の実情を把握できなかったため、**集落の抽出**にあたっては、「**集落課題**」に**直接影響する「(集落の)人口減少(率)」と「高齢化(集落率)」を指標**とする。

集落の存続・再生の方策等を見だし、広域地方計画に反映することを目的として、直接面接調査を行うことから、「集落課題」は、直接面接調査時に詳細を把握する。

【集落課題】 地域コミュニティ、自然環境・防災、集落景観、産業、生活、地域文化



【集落機能軸】 (集落の)人口減少(率) 高齢化(集落率)

**【相関性の高かった項目】**

**集落の人口規模との相関性**

- ・地域コミュニティに関連する「祭事」

**集落の人口規模、集落から市町村役場までの所要時間両方との相関性**

- ・地域コミュニティに関連する「防災活動」や「寄り合い」
- ・自然環境・防災、集落景観、産業、生活、地域文化など集落機能に関わる課題回答

**【相関性の低かった項目】**

- ・集落機能の低下などの具体的な問題への影響に関する設問（農林地管理や荒廃影響など）

表2 集落機能からみた集落の分類軸の抽出

分類項目	アンケート調査結果概要	集落の課題項目
国土保全・ 地域資源	<p><b>【相関性の高かった項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境・防災の課題【問 27】</li> <li>・集落景観の課題【問 28】</li> </ul> <p><b>【相関性の低かった項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林地の管理状況や管理不足による多面的機能への影響【問 21・22・23】</li> </ul>	<p><b>自然環境・防災や集落景観 (維持・向上)</b></p>
地域産業・ 地域経済	<p><b>【相関性の高かった項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の課題【問 26】</li> </ul> <p><b>【相関性の低かった項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後 10 年以内に集落機能の維持が最も困難な集落の生業【問 16】</li> </ul>	<p><b>産業(振興)</b></p>
生活 サービス	<p><b>【相関性の高かった項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の課題【問 26】</li> </ul>	<p><b>生活(環境維持・改善)</b></p>
地域コミ ュニティ	<p><b>【相関性の高かった項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災活動の課題【問 18】</li> <li>・祭事の実施状況【問 19】</li> <li>集落の人口規模のみ相関性あり</li> <li>・寄り合いの実施状況【問 20】</li> <li>・地域文化の課題【問 28】</li> </ul>	<p><b>防災活動(活発化)、祭事や 地域文化(継承)、寄り合い (活発化)</b></p>

## 県別特徴

- ・県別では、「集落課題」にそれぞれ特徴が見られることから、その特徴を踏まえた集落抽出を行うものとする。

### 【県別特性軸】 各県別の集落の存続・再生への課題の特徴

表3 各県における自治体アンケート調査で一番となった問題・課題

県	人口動態	国土保全	地域産業・経済	生活サービス	地域コミュニティ
福岡県	・集落の人口規模の大きな集落機能の維持が最も困難な集落多数			・ごみの不法投棄の問題	
佐賀県		・防災活動を集落外支援で維持している割合	・産業の後継者の不足の問題	・空き家・老朽家屋増加、ブロードバンド整備問題	
長崎県				・水道施設の維持が問題	
熊本県		・森林荒廃と災害時の相互扶助の問題 ・農山村風景の荒廃の問題	・農業基盤の機能低下の問題	・生活用品購入の商店維持や要介護者の見守り、犯罪、日常生活扶助問題	・生活・食文化の衰退の問題
大分県	・定住可能な住宅や受入体制整備の問題	・集落景観の荒廃	・共同作業の継続性や耕作放棄地増加の問題	・日常生活の交通手段の確保の問題	・伝統的祭事、芸能の衰退問題
宮崎県	・定住促進に雇用の場の問題	・土砂災害や洪水、鳥獣被害の問題	・雇用の場や就業機会不足の問題	・携帯電話やテレビ難視聴の問題	・神社・仏閣荒廃の問題
鹿児島県		・空き家・老朽家屋の増加		・道路等美観確保の問題	

## 社会実験企画提案等

- ・上記分類・抽出によって、抽出される集落は、「集落課題」を持つものが抽出される。
- ・一方で、先駆的に地域活性化に取り組む、意欲ある集落もあるため、そのような先駆事例も合わせて抽出する。

### 【萌芽事例】 存続・再生に向けて、萌芽的な取組が見られる集落

## (2) 集落の分類・抽出の考え方

- 以下の流れに基づいて、直接面接調査候補地となる集落を抽出する。

